

表 4(3) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	3. 庄内海岸
地方	東北
管理者	山形県
事業形態	養浜工
養浜量、粒径	養浜量は不明、粒径は不明
養浜方法	吹浦漁港浚渫→比子地区海岸
費用負担	漁港管理者(山形県)：浚渫・運搬・投入 海岸管理者(山形県)：モニタリング

実施場所



吹浦漁港の浚渫土砂を近傍の比子地区海岸にサンドリサイクルしている。山形県の水産課と河川砂防課が連携し、土砂の投入とモニタリングというように役割を分担し、事業を実施している。

表 4(4) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	4. 新潟海岸
地方	北陸
管理者	北陸地整・新潟県
事業形態	養浜工
養浜量、粒径	2万 m <sup>3</sup> /年, 粒径は不明
養浜方法	新川漁港浚渫→五十嵐浜工区
費用負担	河川事業者(北陸地整): 積み込み、運搬、敷均 漁港管理者(新潟県): 浚渫・仮置き

実施場所



新川漁港は、土砂堆積により利用漁船等の入港に支障が生じている。航路の機能を維持するため、年間約2万m<sup>3</sup>の土砂浚渫が必要となっており、以前は、浚渫土砂を沖に捨てていたが、隣接する事業の連携により、浚渫土砂を新潟海岸五十嵐浜工区の養浜箇所に有効活用することで、適正かつ総合的な土砂管理及びコスト縮減を図る。また越前浜下谷地内農用地造成事業とも連携し、発生土砂の有効活用及びコスト縮減を図る。



表 4(5) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

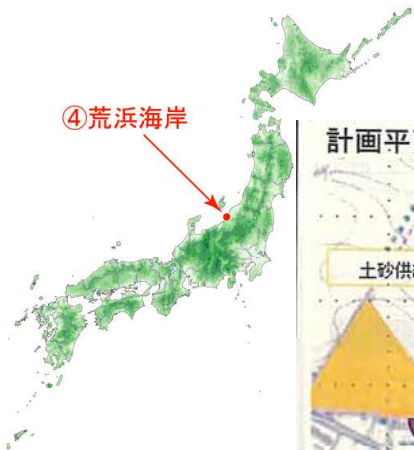
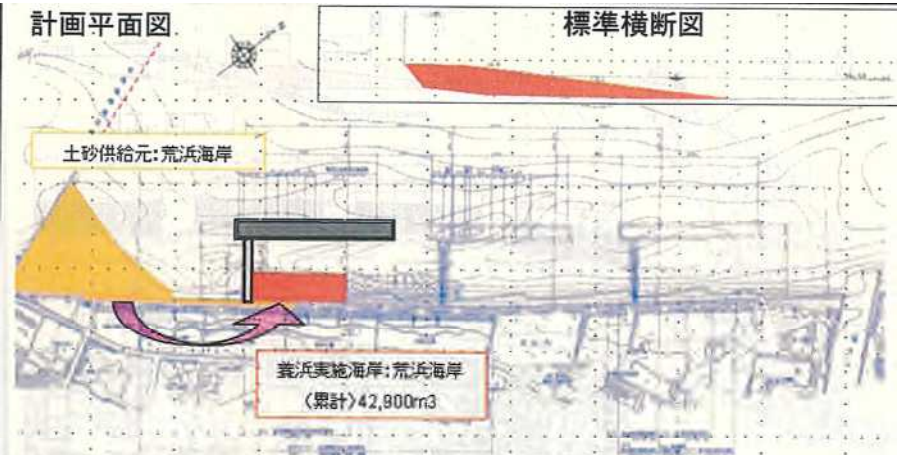



番号・海岸名	5. 荒浜海岸
地方	北陸
管理者	新潟県
事業形態	養浜工
養浜量、粒径	累計 4.29 万 m <sup>3</sup> /年, 粒径は不明
養浜方法	荒浜海岸掘削→荒浜海岸
費用負担	海岸管理者単独(新潟県)
実施場所	 <p>④荒浜海岸</p>  <p>計画平面図</p> <p>標準横断面</p> <p>土砂供給元: 荒浜海岸</p> <p>養浜実施海岸: 荒浜海岸 (累計)42,900m<sup>3</sup></p>  <p>土砂供給先</p> <p>42,900m<sup>3</sup></p>  <p>養浜箇所</p>  <p>養浜後</p> <p>○費用分担 海岸管理者単独。</p> <p>○課題 海水浴シーズン及び冬期間は 施工が出来ない。</p>

表 4(6) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	6. 境海岸
地方	北陸
管理者	富山県
事業形態	①サンドバイパス ②サンドリサイクル
養浜量、粒径	不明
養浜方法	①境川上流砂防堰堤土砂→境川河口 ②宮崎漁港浚渫→境海岸
費用負担	海岸事業者(富山県)：積込、運搬、養浜 他業者(富山県)：掘削、仮置き

実施場所

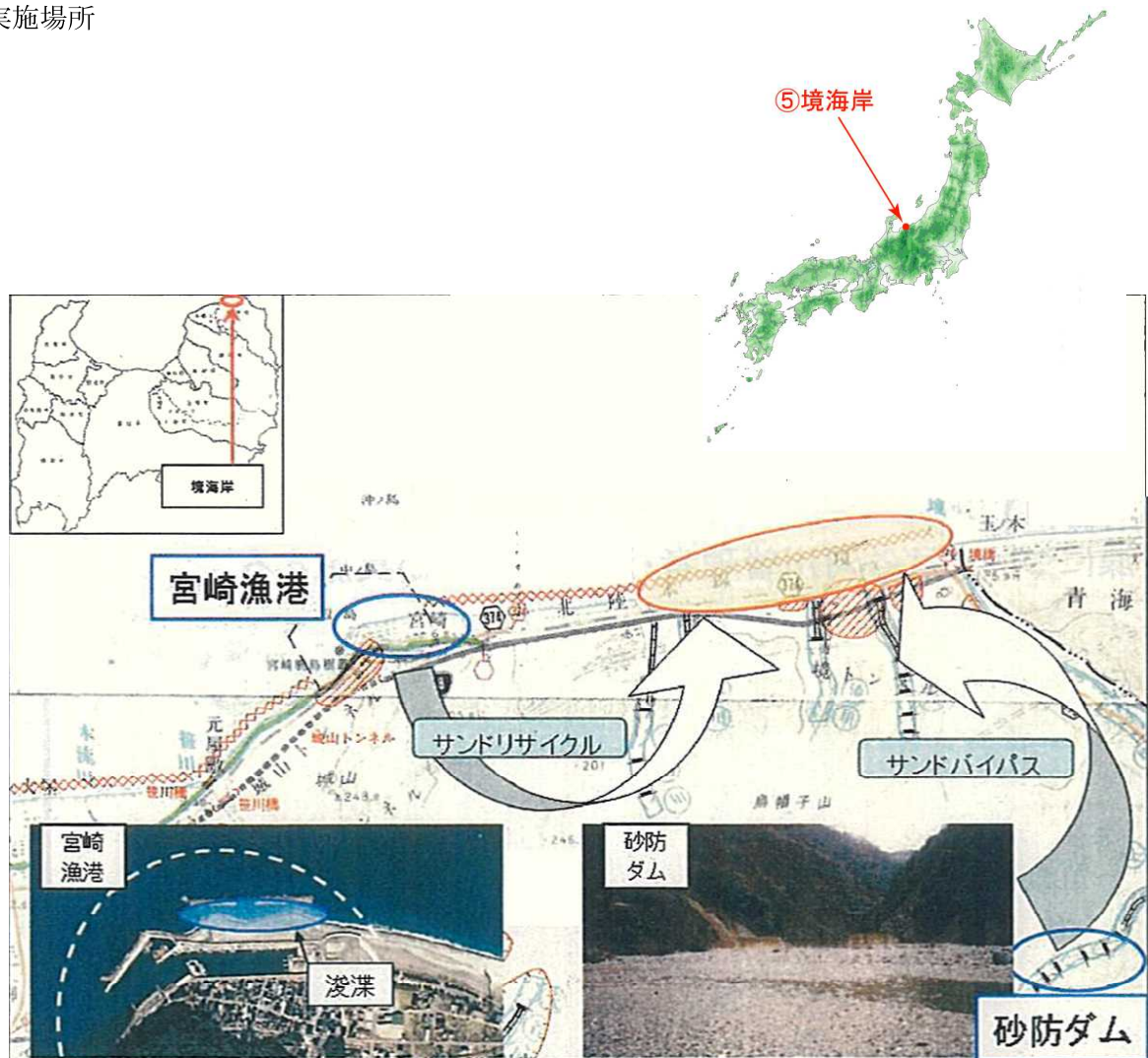


表 4(7) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	7-1. 下新川海岸（荒俣地先）
地方	北陸
管理者	北陸地整
事業形態	サンドバイパス(2002/6)
養浜量、粒径	2.5 万 m <sup>3</sup> /年 d50=15mm
養浜方法	荒俣地区離岸堤背後堆積土砂掘削→下手
費用負担	北陸地整

実施場所

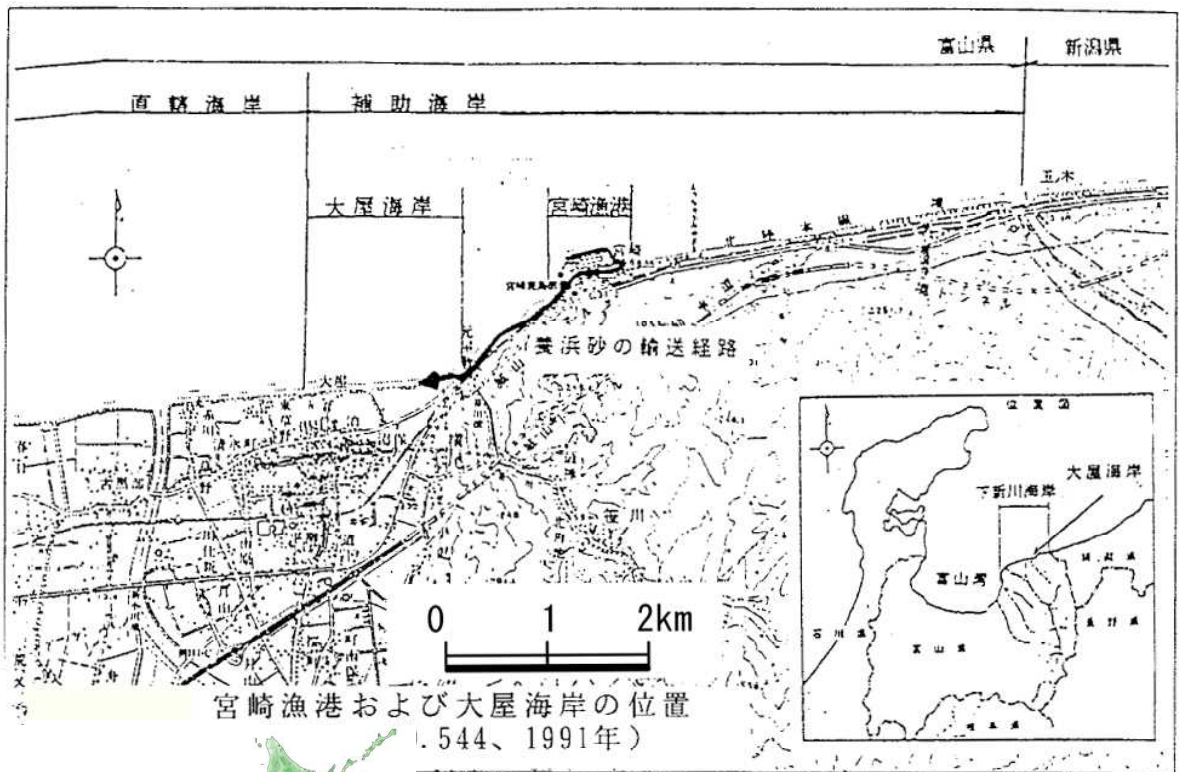




表 4(9) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	8. 大屋海岸
地方	北陸
管理者	富山県
事業形態	サンドバイパス(1987～)
養浜量、粒径	6万 m <sup>3</sup> /年 d50=10～15mm
養浜方法	宮崎漁港浚渫→中継所→海岸投入
費用負担	海岸管理者(富山県)：中継所～投入まで 漁港管理者(富山県)：浚渫～中継所まで

実施場所



出典：静岡県ホームページ

表 4(10) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	9-1. 九十九里浜（一宮海岸）
地方	関東
管理者	千葉県
事業形態	試験養浜
養浜量、粒径	0.45 万 m <sup>3</sup> /年(2005) ， 粒径は不明 1.2 万 m <sup>3</sup> /年(2006) ， 粒径は不明
養浜方法	漁港浚渫→養浜
費用負担	漁港管理者(千葉県)：掘削、運搬 ※通常沖捨てしている運搬距離までの費用を負担 海岸管理者(千葉県)：それ以上の運搬

実施場所

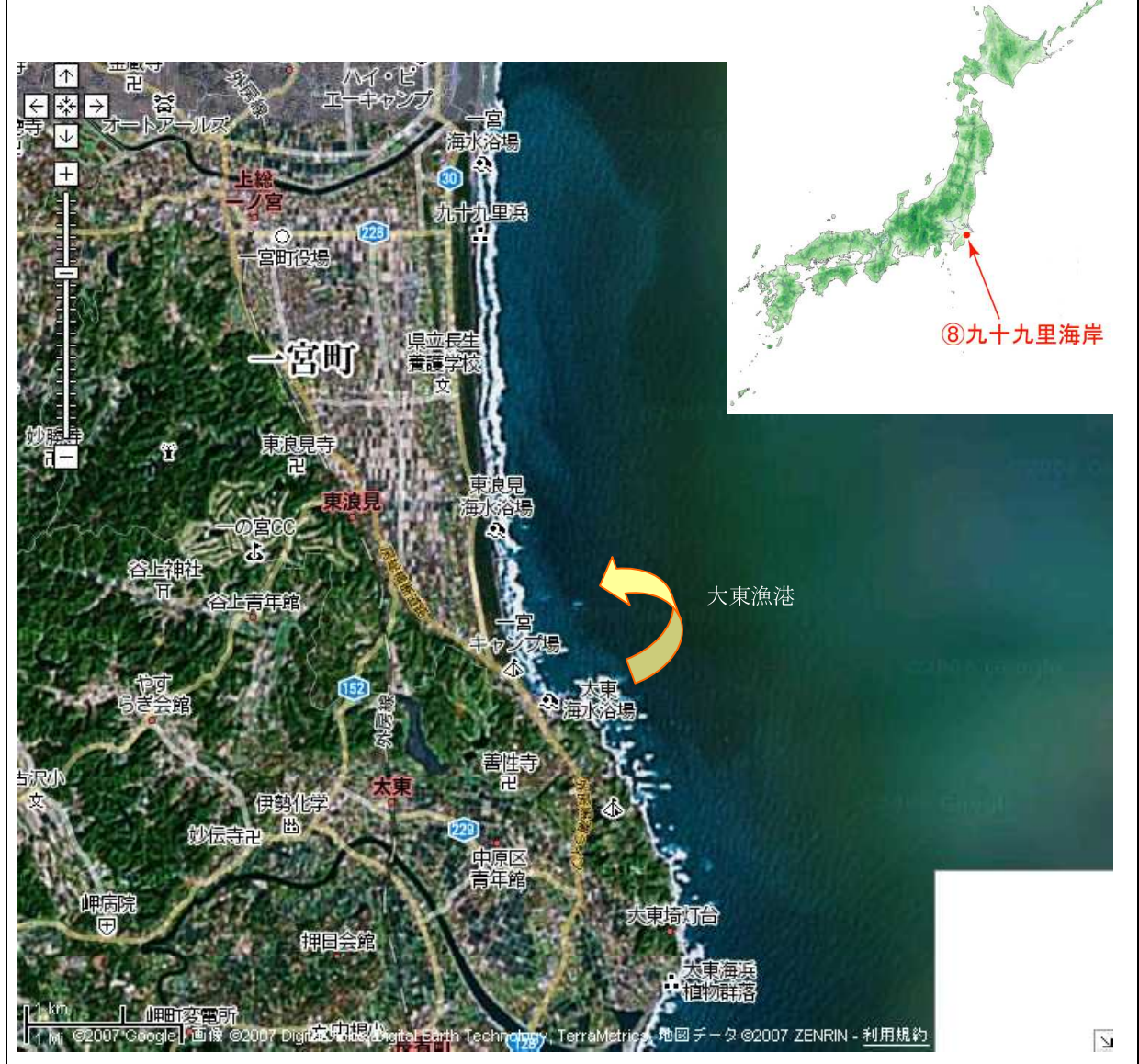




表 4(11) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	9-2. 九十九里浜（飯岡海岸）
地方	関東
管理者	千葉県
事業形態	サンドバイパス(1987/5-12)
養浜量、粒径	0.5 万 m <sup>3</sup> /年 d50=0.21mm
養浜方法	名洗港港内浚渫→養浜
費用負担	千葉県
実施場所	 <p>⑧九十九里海岸</p>



表 4(13) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	10-2. 湘南海岸（茅ヶ崎中海岸）	
地方	関東	
管理者	神奈川県	
事業形態	1990-2005	養浜工
	2002/1-2	試験養浜
養浜量、粒径	1990-2005	0.5 万 m <sup>3</sup> /年，粒径は不明
	2002/1-2	約 1.0 万 m <sup>3</sup> /年，d50=①7.5mm ②2.6mm ③0.36mm
養浜方法	1990-2005	不明
	2002/1-2	①小出川土砂 ②相模ダム堆積砂 ③茅ヶ崎漁港西側堆積砂
費用負担	神奈川県	

実施場所

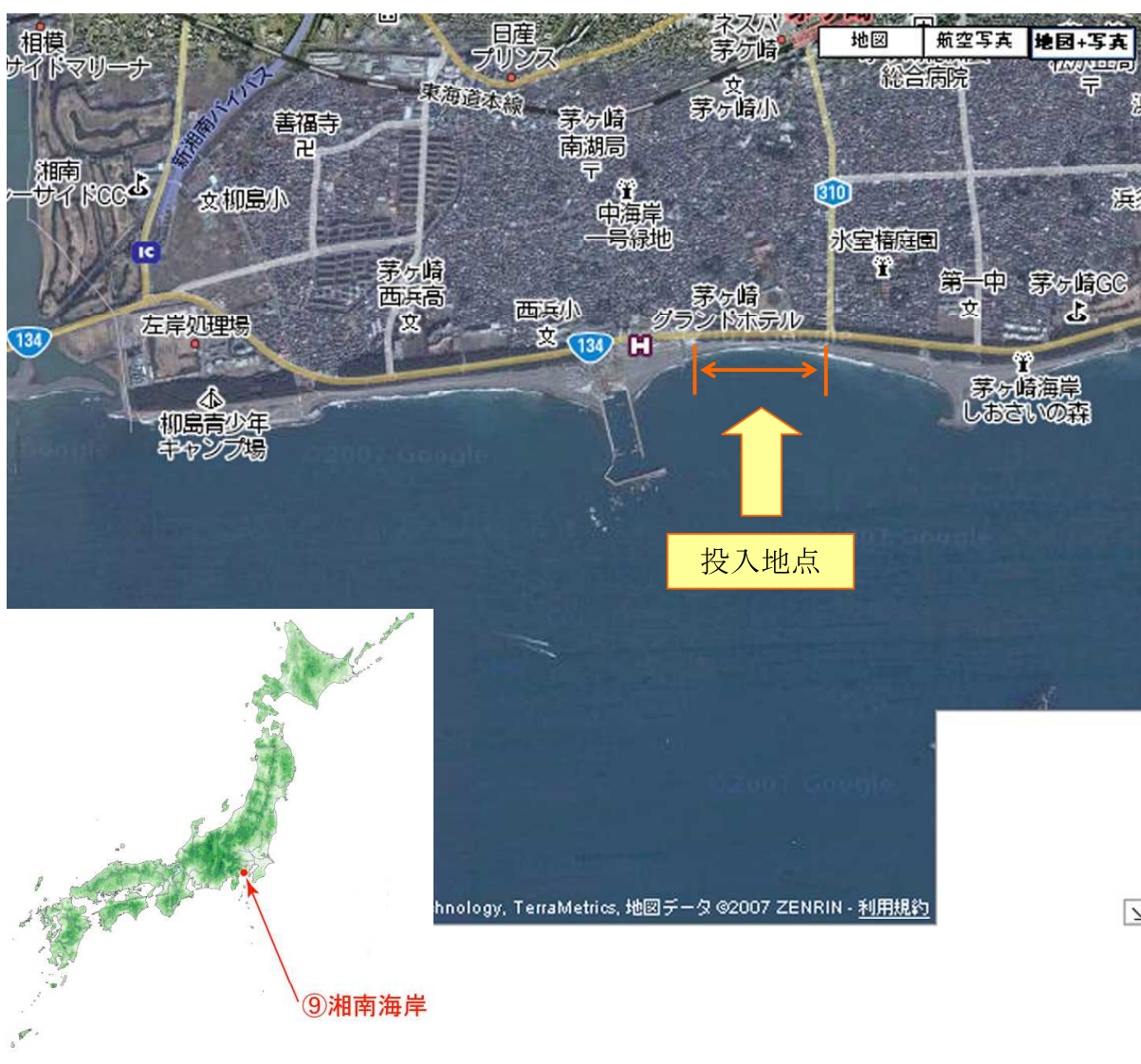


表 4(14) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	11-1. 鹿嶋海岸
地方	関東
管理者	茨城県
事業形態	サンドリサイクル(2000)
養浜量、粒径	4万 m <sup>3</sup> /年, 粒径は不明
養浜方法	鹿嶋港浚渫→陸上輸送→海岸投入
費用負担	漁港管理者(茨城県): 中継所～投入まで 港湾管理者(茨城県): 浚渫～中継所まで

実施場所



表 4(15) サンドリサイクル・サンドバイパス実施事例

番号・海岸名	11-2. 鹿島灘海岸
地方	関東
管理者	茨城県
事業形態	サンドリサイクル
養浜量、粒径	累計 30 万 m <sup>3</sup> /年, 粒径は不明
養浜方法	港湾・漁港浚渫、隣接海岸堆積砂→養浜
費用負担	港湾・漁港サイド(茨城県)：浚渫→陸揚げ(仮置き) 海岸サイド(茨城県)：積み込み→運搬→養浜

実施場所

